



令和5年1月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

令和4年12月14日

上場会社名 株式会社きんえい 上場取引所 東
 コード番号 9636 URL https://www.kin-ei.co.jp/
 代表者 (役職名)取締役社長 (氏名)田中 耕造
 問合せ先責任者 (役職名)執行役員経理部長 (氏名)藤下 修 (TEL)06(6632)4553
 四半期報告書提出予定日 令和4年12月15日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 令和5年1月期第3四半期の業績(令和4年2月1日~令和4年10月31日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
5年1月期第3四半期	2,488	13.7	149	20.4	154	7.1	120	16.6
4年1月期第3四半期	2,188	8.2	123	181.2	144	102.5	103	170.6

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
5年1月期第3四半期	43.36	—
4年1月期第3四半期	37.19	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
5年1月期第3四半期	5,604	2,314	41.3
4年1月期	5,770	2,221	38.5

(参考) 自己資本 5年1月期第3四半期 2,314百万円 4年1月期 2,221百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
4年1月期	—	0.00	—	10.00	10.00
5年1月期	—	0.00	—		
5年1月期(予想)				10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 令和5年1月期の業績予想(令和4年2月1日~令和5年1月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,300	10.0	160	18.4	160	0.6	110	1.8	39.45

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	5年1月期3Q	2,821,000株	4年1月期	2,821,000株
② 期末自己株式数	5年1月期3Q	32,493株	4年1月期	32,428株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	5年1月期3Q	2,788,520株	4年1月期3Q	2,788,572株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(会計方針の変更)	6
(追加情報)	6
(四半期損益計算書関係)	6
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

文中における将来に関する事項は、当第3四半期会計期間の末日現在において当社が判断したものであります。

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルスの感染拡大について依然として予断を許さない状況が続く中、ウイズコロナに向けた各種対策のもと景気は緩やかに持ち直す動きがみられました。しかしながら、物価上昇、供給面での制約、金融資本市場の変動等の影響により先行き不透明な状況が続いております。

この間、当社におきましては、当社施設を通じた新型コロナウイルス感染拡大を防止するため、種々の対策を徹底、継続したうえで集客に努め、収入の確保を目指しました。これらの結果、当第3四半期累計期間の売上高合計は2,488,836千円（前年同期比13.7%増）となり、費用面におきましても、部門別業績管理の徹底により、諸経費全般に亘って鋭意削減に努めました結果、営業利益は149,110千円（前年同期比20.4%増）となり、経常利益は154,988千円（前年同期比7.1%増）、四半期純利益は120,900千円（前年同期比16.6%増）となりました。

各セグメントの状況は次のとおりであります。

シネマ・アミューズメント事業部門におきましては、“ONE PIECE FILM RED” “名探偵コナン” “トップガン マーヴェリック” “ミニオンズ・フォーバー” “ジュラシックワールド/新たなる支配者” “余命10年” “キングダム2 遥かなる大地へ”などを上映して観客誘致に努めるとともに、感染予防対策を徹底したうえで販売促進活動を推進した結果、収入合計は988,244千円（前年同期比42.5%増）、営業原価控除後のセグメント利益は43,852千円（前年同期セグメント損失30,577千円）となりました。

不動産事業部門におきましては、計画的な設備等更新に取り組み、より安全・快適なビルづくりを推進するとともに、賃貸収入の確保に向けて空室部分への後継テナントの誘致に注力した結果、セグメント全体の収入合計は1,500,591千円（前年同期比0.4%増）となりましたが、営業原価控除後のセグメント利益は317,016千円（前年同期比13.7%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期会計期間末における総資産は、有形固定資産の減少等により前期末に比較して165,959千円減少し、5,604,734千円となりました。負債は、短期借入金の返済等により、前期末に比較して258,791千円減少し、3,290,387千円となりました。純資産は、四半期純利益など利益剰余金の増加額が配当金の支払い等による減少額を上回ったため、前期末に比較して92,831千円増加し、2,314,347千円となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

令和5年1月期の業績予想につきましては、令和4年9月8日に「令和5年1月期 第2四半期決算短信（非連結）」にて公表した業績予想に変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (令和4年1月31日)	当第3四半期会計期間 (令和4年10月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	84,524	82,804
売掛金	118,700	-
売掛金及び契約資産	-	103,528
商品	3,455	3,651
その他	566,313	606,938
貸倒引当金	△771	△580
流動資産合計	772,223	796,343
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	2,848,082	2,680,585
機械及び装置(純額)	29,159	34,296
工具、器具及び備品(純額)	98,684	73,934
土地	1,123,748	1,123,748
建設仮勘定	-	94
有形固定資産合計	4,099,674	3,912,658
無形固定資産	59,643	37,828
投資その他の資産		
差入保証金	801,958	815,746
その他	37,194	42,157
投資その他の資産合計	839,153	857,903
固定資産合計	4,998,471	4,808,391
資産合計	5,770,694	5,604,734
負債の部		
流動負債		
買掛金	102,917	68,455
短期借入金	450,000	350,000
1年内返済予定の長期借入金	75,000	75,000
未払法人税等	42,552	34,270
賞与引当金	5,400	11,500
その他	582,754	498,989
流動負債合計	1,258,624	1,038,215
固定負債		
長期借入金	393,750	337,500
退職給付引当金	72,196	67,892
受入保証金	1,529,907	1,554,077
資産除去債務	290,000	290,000
その他	4,700	2,702
固定負債合計	2,290,554	2,252,172
負債合計	3,549,178	3,290,387

(単位：千円)

	前事業年度 (令和4年1月31日)	当第3四半期会計期間 (令和4年10月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	564,200	564,200
資本剰余金	24,155	24,155
利益剰余金	1,741,439	1,834,454
自己株式	△110,884	△111,080
株主資本合計	2,218,910	2,311,729
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	2,604	2,617
評価・換算差額等合計	2,604	2,617
純資産合計	2,221,515	2,314,347
負債純資産合計	5,770,694	5,604,734

(2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 令和3年2月1日 至 令和3年10月31日)	当第3四半期累計期間 (自 令和4年2月1日 至 令和4年10月31日)
売上高	2,188,019	2,488,836
営業原価	1,851,361	2,127,967
営業総利益	336,658	360,868
一般管理費	212,846	211,758
営業利益	123,811	149,110
営業外収益		
受取利息	788	1,234
受取配当金	176	194
違約金収入	4,903	6,998
雑収入	21,269	2,661
営業外収益合計	27,136	11,088
営業外費用		
支払利息	6,272	5,206
雑支出	-	4
営業外費用合計	6,272	5,210
経常利益	144,675	154,988
特別利益		
休業等の要請に伴う協力金	※1 58,563	※1 23,320
特別利益合計	58,563	23,320
特別損失		
固定資産除却損	26,048	3,552
臨時休館に伴う損失	※2 27,189	-
特別損失合計	53,237	3,552
税引前四半期純利益	150,000	174,756
法人税、住民税及び事業税	51,078	55,658
法人税等調整額	△4,796	△1,803
法人税等合計	46,282	53,855
四半期純利益	103,718	120,900

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を第1四半期会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしております。なお、四半期財務諸表に与える影響はありません。

(追加情報)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下、「収益認識会計基準」という。)等を第1四半期会計期間の期首から適用しております。収益認識会計基準を適用したため、前事業年度の貸借対照表において、「流動資産」に表示していた「売掛金」は、第1四半期会計期間より「売掛金及び契約資産」に含めて表示することとしました。なお、収益認識会計基準第89-4項に定める経過的な取扱いに従って、前事業年度について新たな表示方法により組替えを行っておりません。さらに、「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号 2020年3月31日)第28-15項に定める経過的な取扱いに従って、前第3四半期累計期間に係る顧客との契約から生じる収益を分解した情報を記載しておりません。

(新型コロナウイルス感染症拡大に伴う会計上の見積り)

新型コロナウイルス感染症拡大は、依然として予断を許さない状況であります。このような状況が当事業年度(令和5年1月期)においても一定程度残るものと仮定しており、当該仮定を会計上の見積り(繰延税金資産の回収可能性、固定資産の減損会計等)に反映した結果、四半期財務諸表に与える影響はありませんでした。

なお、現時点で入手可能な情報に基づいて最善の見積りを行っておりますが、今後の実際の推移がこの仮定と乖離する場合には、当社の経営成績及び財政状態に影響を与える可能性があります。

(四半期損益計算書関係)

※1 休業等の要請に伴う協力金

前第3四半期累計期間(令和3年2月1日から令和3年10月31日まで)

新型コロナウイルス感染拡大防止に向けた大阪府からの休業等の要請に応じたことによる協力金を、休業等の要請に伴う協力金として特別利益に計上しております。

当第3四半期累計期間(令和4年2月1日から令和4年10月31日まで)

新型コロナウイルス感染拡大防止に向けた大阪府からの休業等の要請に応じたことによる協力金を、休業等の要請に伴う協力金として特別利益に計上しております。

※2 臨時休館に伴う損失

前第3四半期累計期間(令和3年2月1日から令和3年10月31日まで)

新型コロナウイルス感染症拡大による政府の「緊急事態宣言」及びこれを受けた大阪府の「緊急事態措置」に基づき、「あべのアポロシネマ」ほか該当施設の臨時休館を実施しました。当該臨時休館中に発生した固定費等(減価償却費ほか)に臨時性があると判断し、臨時休館に伴う損失として特別損失に計上しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期累計期間(令和3年2月1日から令和3年10月31日まで)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期 損益計算書 計上額 (注) 2
	シネマ・アミューズメント事業	不動産事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	693,307	1,494,712	2,188,019	—	2,188,019
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	693,307	1,494,712	2,188,019	—	2,188,019
セグメント利益又は損失(△)	△30,577	367,235	336,658	△212,846	123,811

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額は、主に各報告セグメントに配分していない一般管理費(全社費用)であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期累計期間(令和4年2月1日から令和4年10月31日まで)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期 損益計算書 計上額 (注) 2
	シネマ・アミューズメント事業	不動産事業	計		
売上高					
劇場収入	896,071	—	896,071	—	896,071
ビル共益費等収入	—	292,920	292,920	—	292,920
娯楽場及びその他事業収入	92,173	18,726	110,899	—	110,899
顧客との契約から生じる収益	988,244	311,647	1,299,891	—	1,299,891
その他の収益	—	1,188,944	1,188,944	—	1,188,944
外部顧客への売上高	988,244	1,500,591	2,488,836	—	2,488,836
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	988,244	1,500,591	2,488,836	—	2,488,836
セグメント利益	43,852	317,016	360,868	△211,758	149,110

(注) 1 セグメント利益の調整額は、主に各報告セグメントに配分していない一般管理費(全社費用)であります。

2 セグメント利益は四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。